



Doshisha University Academic Repository

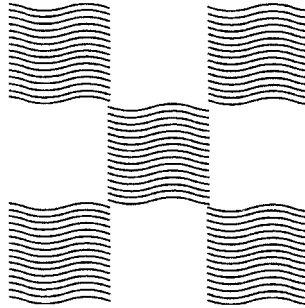
同志社大学学術リポジトリ

## 表紙、目次、編集規定

著者	同志社社会学研究学会
雑誌名	同志社社会学研究
号	3
ページ	n
発行年	1999-03-31
権利	同志社社会学研究学会
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1707/00020820/">http://id.nii.ac.jp/1707/00020820/</a>

# 同志社社会学研究

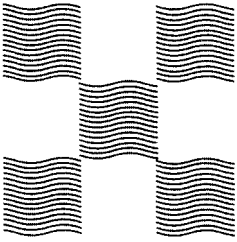
「第3号」



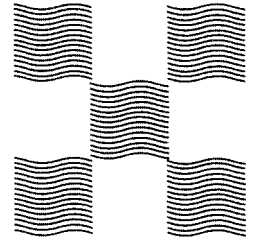
1999年3月

●研究論文

- |   |       |
|---|-------|
| 戦後における香港地域研究の変遷<br>——人類学を中心に——                              | 河口 充勇 |
| 被害者と加害者が同じ論理を採用することに関する一考察<br>——公害と薬害の裁判紛争における主張と見解を事例にして—— | 平井 順  |
| 韓国テレビ広告の内容分析  | 森津 千尋 |
| 都市同郷団体の生成と変容<br>——石川県小松市、加賀市出身者を事例にして——                     | 湯浅 俊郎 |
| 資本主義的関係の深化としての記号消費社会  | 小林 大祐 |
| 社会化論の展開<br>——再社会化の視点から——                                    | 安居 哲也 |
| 村落社会における宮座の変容<br>——滋賀県中部広域市町村圏・信楽町・野洲町を中心として——              | 星 真理子 |



ISSN 1342-9833



# Doshisha Review of Sociology

No. 3 March 1999

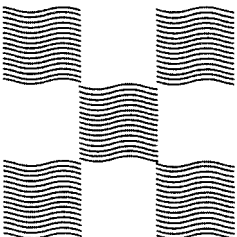
---

## CONTENTS

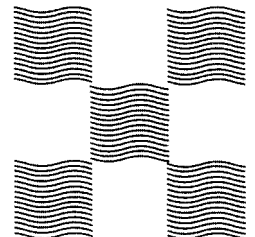
---

### ●ARTICLES

- |  |                   |
|--|-------------------|
| Hong Kong Area Studies in Postwar Era :<br>Focusing on Anthropological Works   | KAWAGUCHI Mitsuo  |
| An Essay on a Suit shared by the Plaintiff and Defendent<br>—Statement on Minamata and Chloroquine case tried in court—  | HIRAI Jun         |
| Text analysis of Korean advertizing  | MORITSU Chihiro   |
| The Component and Change of DOKYODANTAI<br>(Locality-based associations) in Urban Area<br>—A Study of Those from KOMATSU-shi,<br>KAGA-shi ISHIKAWA Prefecture— | YUASA Toshiro     |
| Capitalism and a Semiotic Transition of Consumption Society  | KOBAYASHI Daisuke |
| A Development of Socialization Theory<br>—A point of view in resocialization—  | YASUI Tetsuya     |
| An Investigation into the Transformation of Miyaza<br>in a Rural Society   | HOSHI Mariko      |



**Doshisha Sociological Association**



# 同志社社会学研究

NO. 3, 1999

<目次>

## ●研究論文

戦後における香港地域研究の変遷 ——人類学を中心に——	河口 充勇	1
被害者と加害者が同じ論理を採用することに関する一考察 ——公害と薬害の裁判紛争における主張と見解を事例にして——	平井 順	17
韓国テレビ広告の内容分析	森津 千尋	27
都市同郷団体の生成と変容 ——石川県小松市、加賀市出身者を事例にして——	湯浅 俊郎	41
資本主義的関係の深化としての記号消費社会	小林 大祐	65
社会化論の展開 ——再社会化の視点から——	安居 哲也	87
村落社会における宮座の変容 ——滋賀県中部広域市町村圏・信楽町・野洲町を中心として——	星 眞理子	101
研究室だより		130
修士論文題目		131
執筆者紹介		133
編集後記		134

## 「同志社社会学研究」編集規定

1. 本研究誌は同志社社会学研究学会の機関誌として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。
  2. 掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）
    - 研究論文（40～60枚）
    - 研究ノート（20～30枚）
    - 学会・研究動向（10～20枚）
    - 書評・紹介（10～15枚）
    - 研究室だよりなど
  3. 編集委員は本学社会学専攻教員、同院生及び同卒業生の代表により構成される。
  4. 投稿者は本学教員、同院生、同卒業生とする。
  5. 原稿は未発表のものに限る。掲載の可否は、専門のレフリー（本学教員＋外部の専門家各1名）の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。
  6. 原稿の締め切りは9月末、発行は翌年1月とする。
  7. 執筆要項
    - 横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参考文献の書式は日本社会学会機関誌「社会学評論」に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。
  8. 提出原稿の形式
    - 題目は日本語と英文タイトルをつけ、フロッピー1枚とハードコピー（40字×40行）を3部提出。（フロッピーは1.4MBを使用し、MS-DOS及びMACのテキストデータとする。）
- \*その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。